

主な記事
東日本大震災 今私たちができることは
善意の日、Q&A、ふくしの風
23年度事業計画書

.....
4 5 3 2
.....

安心してボランティア活動をする為に、ゆめ花館紹介
家族とすくすくと大きくなあれ、散髪サービスのご案内
.....
7 6

社協 かみかわ



表紙より：

『みんなでつくったもの』

旧神崎中学校横にあったゆめ花館が、神崎総合病院北へ移転しました。みんなでつくった手作りソファや鍋敷きなど力を合わせ作った手芸品などを販売中です！

(6 ページに関係記事)

2011 年 (平成 23 年)
—6・7 月号—
第 34 号

編集発行 社会福祉法人
神河町社会福祉協議会

2011 年 6 月発行

社会福祉法人 神河町社会福祉協議会 〒679-2414 神崎郡神河町栗賀町 630 番地 神崎支庁舎内
TEL 0790 (32) 2303 FAX 0790 (32) 2700 E メール k-syakyo@kcni.ne.jp
ホームページ <http://www.shakyo.or.jp/hp/1237/>

職員がみた宮城・南三陸町の現状

東日本大震災の復興支援に向け、全国社会福祉協議会の提案で、兵庫県各市町の社協職員が、交代で宮城県に継続的に派遣されることと決まり、震災直後から現地のボランティアアセンター運営を行っています。4月初旬と5月初旬、神戸町社協職員2名が南三陸町へ行ってきました。

南三陸町ボランティアセンターでの主な業務は ①ボランティア活動者を被災者の要望につなげる電話対応 ②ボランティア活動者の受付と派遣 ③各避難所へ伺い避難されている方の要望を聞き出すこと ④ボランティア



「がれきの中から見つかった写真など洗浄する
『思い出探し隊ボランティア』」

④ ボランティア活動を希望する方へ
⑤ がれきの中から見た写真などの思い出の品を洗浄するボランティアの調整をした。

震災から2か月が経過しましたが、南三陸町の中心部は、未だがれきの山で、行方不明者も未だに600人を超え、そして約4500人を超える方々が避難所で生活しておられます。電気はようやく通りましたが、水道の復旧には、まだ3か月近く要する見込みです。



「テレビで見る映像が目の前に…」

私たちは現地に行った社協職員にできることは、被災地の様子や感じたことを伝えることくらいしかできません。

「今日も一日、元気よく笑顔で活動をしてください」

この言葉を、現地の社協職員でご家族を亡くされた方が、私たち派遣スタッフ会議の時に、毎日のように言っておられました。逆境の中、誰よりも明るく振舞われている姿にたくさんの勇気を頂きました。

社協窓口をはじめ、役場窓口や、公共機関にも募金箱が設置されています。また、西播磨管内の社協では、ボランティアバスを運行し震災復興ボランティアを募りました。継続的な支援が必要とされている中、もう一度私達ができることは何かを考えてみましょう。



「全国から駆けつけてくれる心強いボランティアを受付け被災地へ送り出す」

善意の日

まず隣りからひろげよう

たすけあい



兵庫県では、県民一人ひとりの善意と誠意を結び、集めてることによって社会の福祉を増進し、明るく豊かな郷土づくりを進めていきたいと念願し、昭和39年に『善意の日』と定め、各地で運動を展開しています。社会福祉協議会でも例年どおり善意の募金運動を実施します。募金は、誰もが安心して暮らせるささえあいの地域づくりのために、有意義に活用させていただきます。

- * 毎月開催している心配ごと相談所の開設経費
- * ひとり暮らしのお年寄りなどへの支援
- * 就園前の子ども達が集まる子育てひろばへの支援
- * ボランティア活動を支援するための助成金
- * 誰もが安心して暮らせる地域づくりのための助成金 他

なお、募金の取りまとめは日赤奉仕団役員様（一部区長様）にご協力いただいております。また、公共施設には募金箱を設置しております。今年も皆様からのあたたかいご協力をどうかよろしくお願いいたします。



ひとり暮らし 高齢者のつどい

Q

こんなとき
どうする？

Q

東日本大震災を契機に、ボランティア休暇ということをよく耳にします。こういった内容なのでしょうか。

A



企業が、従業員のボランティア活動への参加を奨励し、時間的に支援するための制度です。企業の社会貢献や労働時間短縮の流れのなかで注目され、阪神淡路大震災をきっかけに、国家公務員や各自治体の公務員にも導入される動きが広がりました。通常の有給休暇とは別にボランティア活動・社会的活動に対する休暇として取得できるもので、それぞれの企業、機関で独自に設けられます。休暇がとりにくい日本の企業風土のなか、あまり普及が進んでいない現状がありました。このたびの震災により、新たに導入したり、休暇日数を拡大する企業が増えているとのことです。



ふくしの風

『おねがい』わたしが一年生のとき／おとうさんはしんぞうのびょうきになった／二年生のときは／じしんでしごとがなくなつた／三人ではなしあいをした／三人ではげましあつていきいていこう／三年生にはいいことがありますようにと／こころでおねがひした／かしま先生にもいいことがありますようにと／おねがひしましたよ／二年四組のみんなにもだよ（鹿島和夫編・2年4組神戸っ子の記録「大地震になんかまけへん」より）▼阪神淡路大震災当時、被災した小学2年生の子どもたちが、その体験や思いを綴った詩のひとつだ。担任だった鹿島先生は言う。「クラスを思うやさしさと、しんさいにうちかとうとする強い心に感動しました。」と▼時を経て、今、東日本大震災という深刻な事態に直面している私たち。この『おねがい』という詩にこめられた思いと重ね合わせて、被災地の人々、子どもたちのよりよき明日を祈らずにはいられない▼さまざまな困難に見舞われるなかでも、周りの人のことを思う…ともに支え合い、励まし合つていこうと願う…これこそが『福祉』のあり方であり、考え方ではないだろうか。

～だれもが安心して暮らせるささえあいの地域づくり～

【重点活動項目とその内容】

今、様々な福祉課題がある中、本会では次の6項目を重点活動に掲げ、取り組みます。

① 総合支援資金の相談窓口強化

離職してから概ね3年以内の休職中の生活困窮者へ資金を貸付する制度であり、事業の実施主体は兵庫県社協が、相談窓口は各市町村協が担っています。昨年からの相談件数が増えはじめてきており、今後もそれが続くと思込まれるため、担当者以外にも複数の職員がこの業務に対応できるようにします。

② 福祉サービス利用援助事業の推進

認知症の方や障害や高齢などにより生活の判断力が乏しく孤立した方に対し、日常の金銭管理を定期的にお手伝いするサービスであり、近年の独居世帯の増加等で、その必要性が高まってきています。そこで、役場地域包括支援センターや各民生委員さんとの連携を深め、孤立した方の把握に努めるとともに、必要と思われる方がすみやかにサービス利用されるよう努めます。

③ 第2次地域福祉推進計画

「まいつろ安心プラン」の策定

平成20年度からの3ヶ年、本会が目指す活動を示した計画書が満了となります。そこで、推進計画策定委員会を立ち上げ、これから次の社協活動や地域福祉活動を示した中期計画書の策定作業に入ります。

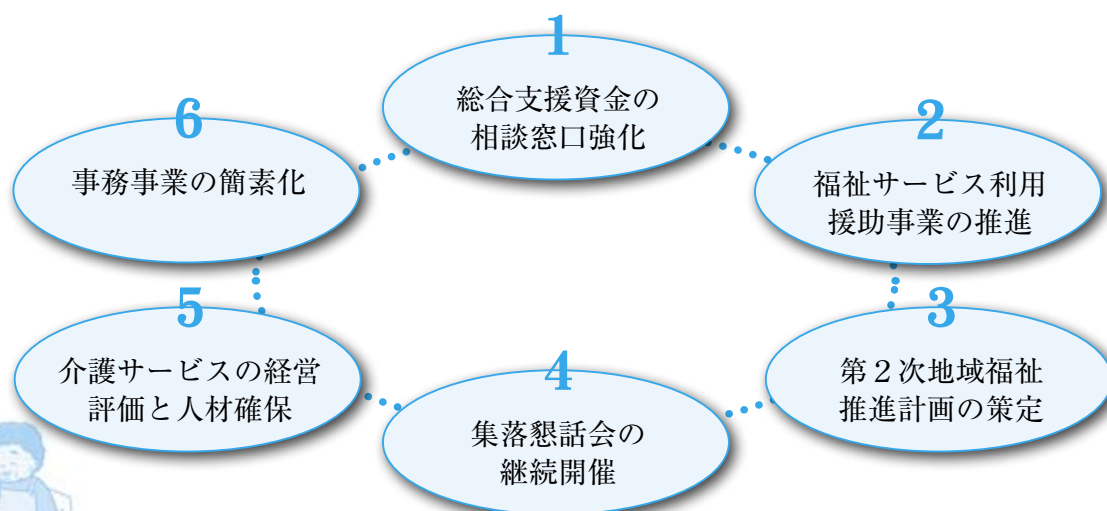
④ 災害をテーマとした集落懇話会の継続開催

昨年度は山間部の16集落へ役職員が出向き集落懇話会を開催しました。23年度は引き続き、残り23集落すべてを巡回し、災害時に行う社協の役割と、日ごろからの地域の繋がりの大切さを訴えかけていきます。

⑤ 介護サービスの経営評価と人材確保

介護保険サービスにおいては、社協が提供するホームヘルプサービスや訪問入浴といった在宅系サービスよりも、施設への通所系サービスに対する利用ニーズがより高まってきており、ライフスタイルの変化に伴う家族介護力の変化が大きな要因と考えられます。

そこで利用満足度調査に加え、新たに第三者による経営診断システムを導入し、今後の事業の経営戦略に活かします。一方、介護職員が順次、定年退職を迎える時期に来ており、人材の確保が困難な中ではあるが、今後も粘り強く人材確保に努めます。



神河町社協 平成 23 年度事業計画書

⑥ 事務事業の簡素化への取り組み

法令順守（コンプライアンス）やマニュアル整備が求められている中、それを単に進めるだけでは日常業務が煩雑になり、活動リスクを高めてしまうことにもなりかねません。職員においては、閉塞感や倦怠感に陥ることもないよう、柔軟な思考のもと、事務事業の点検評価に加え、簡素化にも取り組み、効果的な業務運営を目指します。

【今後の課題】

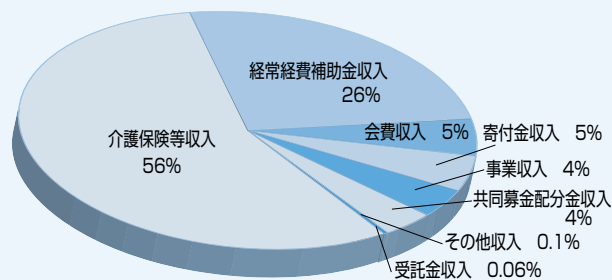
募金や会費は社協活動を行うための貴重な財源として、また地域の福祉活動に住民が参加していることへの証として大変重要な意味を持ちます。現在、募金や会費の集落取りまとめを区長さんや婦人会さんをお願いしています。

しかし、婦人会組織においては会員数の減少が続ぎ、一部集落では既に解散されるなど、これまでどおりの募金の取りまとめをお願いすることは不透明な状況となってきました。

そのため、理事会において今後の会費や募金活動をどう行うか、その時期や方法などについて検討しましたが、関係団体とも引き続き慎重に協議を重ねながら、安定した募金、会費活動が継続されるよう努めます。

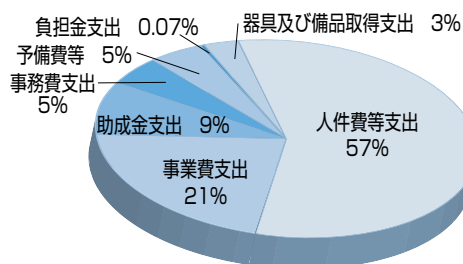
法人運営・介護保険事業収入

(単位：円)



経常経費補助金収入	町、県社会福祉協議会からの補助金、助成金	26,468,000
会 費 収 入	戸別一般会費、事業所特別会費	5,711,000
寄 附 金 収 入	善意銀行寄付金、善意の募金	5,520,000
事 業 収 入	介護利用料、給食サービス利用料、介護用品販売料、バザー収益金など	4,048,000
共同募金配分金収入	赤い羽根募金、歳末助け合い募金	3,697,000
そ の 他 収 入	預金利子、実習生の受入れ費	117,000
受 託 金 収 入	町・県社会福祉協議会からの受託費軽度生活支援事業、生活福祉資金貸付事業	67,000
介 護 保 険 等 収 入	居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問入浴事業による	57,850,000
合 計		103,478,000

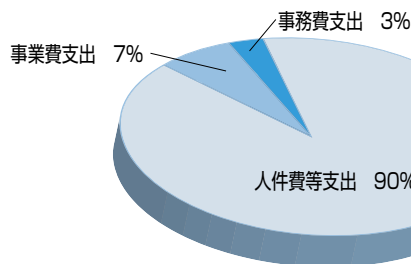
法人運営事業支出



(単位：円)

人 件 費 等 支 出	常勤、非常勤、役員にかかる人件費（経常経費補助金より）	27,403,000
事 業 費 支 出	事業に直接要する人件費以外の費用	9,934,000
助 成 金 支 出	ボランティアグループ、子育て・ミニデイ、地域づくりなどの助成金	4,330,000
事 務 費 支 出	事務用消耗品、リース料、公共料金など	2,536,000
予 備 費 等	基金の積立や予算不足時に充当する費用	2,513,000
器 具 及 び 備 品 取 得 支 出	備品（主に倉庫）の購入費用	1,136,000
負 担 金 支 出	諸団体への会費、負担金など	36,000
合 計		47,888,000

介護保険事業支出



(単位：円)

人 件 費 等 支 出	居宅訪問介護、訪問介護、訪問入浴事業にかかる人件費（介護保険収入より）	50,348,000
事 業 費 支 出	事業に直接要する人件費以外の費用	3,701,000
事 務 費 支 出	事務用消耗品、リース料、公共料金など	1,541,000
合 計		55,590,000

安心してボランティア活動を・・・



● 社協ボランティアセンターに、ぜひご登録ください！ ●

社協に登録されたボランティア（個人・グループ）は、社協加入のボランティア保険で補償します。安心してボランティア活動をする上でも、万が一の事故に備えていただくためにも、ボランティア活動をされている個人の方やグループは、社協ボランティアセンターへご登録下さい。

他にも、ボランティア行事保険や、各種ボランティア情報、活動助成などについても社協ボランティアセンターまでお気軽にご相談下さい。

ボランティア保険内容

◇傷 害 保 険…ケガをされた場合（自分たちで作った食べ物での食中毒も対象で、活動先への往復途上も含む。）

通 院 （日額6千円）

入 院 （日額1万円）

◇賠償責任保険…第三者の身体または財物に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合

◇登 録 手 続 き

ボランティア登録用紙は社協にあります。グループの場合は会員名簿を添えて社協へ登録ください。

平成 23 年度兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の加入について

「兵庫県ボランティア・市民活動共済」は、日本国内において他人や地域社会に貢献するなど社会的に意義のあるボランティア活動中のボランティア保険で、市民活動団体、各種団体の役員や青少年育成団体の指導者等、幅広いボランティア活動（災害地や宿泊を伴う活動も含む）に対応しています。掛け金は、1名につき年額500円（年度内は、いつ加入しても500円です。）

補償期間

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

加入手続き

加入書類は社協にあります。掛け金を添えて、社協へ提出ください。



突撃取材！

『ゆめ花館』へ行ってきました

～表紙より～

ここでは、日常生活の樹立や社会参加の促進を目的に、義務教育を終えた5名が平日9時～16時の間作業を行っています。

取材当日は、皆でソファの土台となる牛乳パックに、新聞紙を詰める作業中で皆一生懸命作業をしていました。

5人それぞれが自分のできることを行い、『皆で作った作品』が販売されています。また働くことができるメンバーは、庁舎やケーブルテレビで清掃業務をしています。新しい場所に移動して心機一転、新しいものを作り続ける挑戦はこれからも続きます。



【商品紹介】しおり 50円

天然入浴剤 150円

オーダーソファ 1500円～ など

【ゆめ花館連絡先】

・TEL/FAX：(0790) 32-1613

・粟賀町394-1（神崎総合病院裏）

・施設長 秋山紀史（皆のやさしいお父さん役です）

家族と

『すくすくと大きくな～れ…』

おめでとう！ 1歳の誕生日

～ 5・6月生まれのおともだち～



そうま
竹村 奏真くん（猪篠）
竹村拓哉さん宅のお子様

マイペースな奏ちゃん
これからも奏真のペースで大きくなってね。



かずま
田中 一磨くん（寺前）
田中博士さん宅のお子様

元気いっぱいの一磨、みんなと仲良くて
できる優しい子になってね。

☆ 1歳を迎える赤ちゃん和家人の写真募集中☆

7月、8月に1歳のお誕生日を迎える赤ちゃん和家人一緒にの写真を募集します。赤ちゃん和家人、ご両親、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に撮影した写真をご持参ください。写真またはデータかを社協窓口までご持参くださるか、Eメールでお送りください。記入用紙は社協窓口でご記入もしくは、ホームページの申請用紙からダウンロードして社協までご持参ください。

（申し訳ありませんが、大人が写っていない写真はご遠慮いただいています。）

締め切り・・・6月25日

ご利用
ください

暑い夏、散髪してスッキリしましょう！

対象となる方：＊介護認定で介護度4～5の方

＊身体障害者手帳1種1～2級、療育手帳A判定、精神障害者手帳1級のいずれかに該当し、かつ介助なしに外出できない方、あるいは常時車椅子を必要とされる方

助成の内容：理容にかかる費用（出張の場合はその料金も含まれます）のうち3,500円を上限に助成

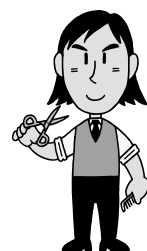
散髪の期間：7月15日～8月31日

手続き方法：9月7日（水）までに ①印鑑 ②領収書（レシート可） ③金融機関の口座通帳を社協事務所〔神崎支庁舎内〕へご持参下さい

留意点：＊利用されるお店の指定はありません

＊長期間、施設入所や入院されている方は対象外です

◎このサービスは皆さまからご協力いただく「赤い羽根募金」の配分金で実施されます。



【善意銀行】

(3月18日～5月17日) (敬称略・受付順)

住 所	氏 名	
	匿 名	供養として
吉 富	辻 井 重 広	供養として
吉 富	小 林 良 信	供養として
	神河町商工会女性部	福祉のために
吉 富	藤 原 雅 彦	供養として
越 知	横 田 弘 樹	供養として
長 谷	上 垣 資 紀	供養として
柏 尾	村 上 博 之	供養として
越 知	藤 原 良 一	供養として
柏 尾	前 田 豊 幸	供養として
栗賀町	木 村 則 一	供養として
貝 野	藤 永 和 明	供養として
大 畑	小 林 一 馬	供養として
吉 富	高 橋 次 郎	供養として
川 上	草 壁 伸 雄	供養として
川 上	草 壁 博	供養として
預託金額合計		565,000 円

皆様からの善意銀行への預託金は、町内で活躍するボランティアグループの助成金や、高齢者給食サービスの材料代、心配ごと相談、町内小中学校・高校のボランティア活動などに使われています。皆様の温かいお気持ちに感謝を致します。

【収集ボランティア】
《古切手・ベルマーク・テレホンカード》
・石堂 明美 (鍛冶)
・岡本須美子 (柏尾)
・神崎中学校卒業生根宇野区有志
・健康福祉課
・上下水道課
・役場 地域振興課
・うぐいす荘 (福本)
・(株)堀口 (栗賀町)
・共栄ゴルフ工業(株) (市川町)
・大垣 幸嗣 (長谷)
・藤原 洋子 (猪俣)
・上山とみ子 (比延)
・林 洋子 (比延)
・藤原 喜与 (根宇野)

感謝のお知らせ
(3月18日～5月17日)
(敬称略・受付順)

【物品預託】
・神崎中学校卒業生有志
・ノート、文房具
・根宇野老人クラブ
・雑巾
・稲川 徳彦 (栗賀町)
・電動ベッド (根宇野)
・岡本 明 (根宇野)
・衣類品 (柏尾)
・前田 豊幸 (柏尾)
・介護用品

ありがとうございます
1年間
で箱いっ
ぱいにな
りました
。集め
られた古
切手類は、誕生日ありがとう
運動本部に送り、バザーや海
外旅行のお土産になります。



各相談所の年間開設日

弁護士相談

離婚や借金問題など、法律に関する相談に応じます。

日	時	場 所	担当弁護士
H23. 6.22	(水) 13:30 ~ 16:30	神河町役場神崎支庁舎	村山 稔
H23. 8.24			齋藤 護
H23.10.26			八木正晃
H23.12.21			齋藤 護
H24. 2.22			石原浩史

※ 偶数月の第4水曜日 13時30分より、弁護士による法律相談を開催します。
※ 法律相談は完全予約制です。予約をされずに来られても相談は受けられません。相談時間はお一人20分間です。また、同じ案件でのご利用は、2回までとします。

心配ごと相談

日常生活での困りごとや心配ごとなど、どんなことでも相談に応じます。

日	時	場 所
H23. 6.10	(金) 13:00 ~ 16:00	越知区公民館
H23. 7. 8		センター長谷
H23. 8.12		大山区公民館
H23. 9. 9		南小田区公民館
H23.10.14		神河町役場神崎支庁舎
H23.11.11		大河内保健福祉センター
H23.12. 9		神河町役場神崎支庁舎
H24. 1.13		大河内保健福祉センター
H24. 2.10		神河町役場神崎支庁舎
H24. 3. 9		大河内保健福祉センター

※相談員：行政相談員・人権擁護委員・民生児童委員
※毎月第2金曜日の13時より、相談員による心配ごと相談を開催します。
※心配ごと相談は完全予約制で、予約されずに来られても相談は受けられません。(受付は15時まで)
※前日までに予約が無い場合は、当日の相談は中止となります。

お譲り
します!!

長く使って頂ける方
にお譲りします。

電動ベッド



必要な方は、ご連絡下さい。

東日本大震災の被災者のために、被災者に寄り添った支援活動が必要とされています。被災者に向けて継続的に支援していくために、必要とされる人を支える募金が必要とされています。集まった募金は、共同募金会を通じて、義援金とは別に現地で活動する『災害ボランティアNPO活動のサポート』に使用されます。募金箱は、神崎支庁舎内の社協窓口にご設置しております。皆様の協力をお願いいたします。



復興を支援するための
募金にご協力を!